

2025 年 11 月 21 日
大和エネルギー・インフラ株式会社

ドイツの系統用蓄電池プロジェクトへの出資について

大和エネルギー・インフラ株式会社（代表取締役社長：松田守正、以下「当社」）は、ドイツのザクセン・アンハルト州に立地する系統用蓄電池プロジェクト（出力 13.8MW）に対し、開発事業者である Second Foundation 社（本社：チェコ）より持分 49%を取得いたしました。Second Foundation 社は引続き 51%の持分を所有し、蓄電池の商業運用を手掛けます。

本プロジェクトは、再生可能エネルギーの更なる普及や電力系統の安定化を目的として開発されたものです。現在は稼働試験を終え、2025 年中に全市場での運転開始を予定しています。事業期間は 15 年以上を想定しており、電力市場での運用を通じて収益を得る予定です。

当社は本プロジェクトへの参画を通じて、再生可能エネルギーの普及促進や CO2 排出削減といった社会的課題の解決に貢献してまいります。今後も国内外における有望な再生可能エネルギー・蓄電池案件への投資を積極的に推進してまいります。

本プロジェクト概要

概要	ロケーション	ドイツ ザクセン・アンハルト州
	出力	13.8MW
	電力市場	EEX
	COD	2025 年 4Q
開発会社	Second Foundation 社	
投資家	大和エネルギー・インフラ	

Second Foundation 社

Second Foundation 社は、チェコ共和国に本社を置き、世界に 8 つのオフィスを持つエネルギー分野のテクノロジー企業です。現在、EU 内の時間前市場における電力の約 8%を取引する主要な事業者であり、アメリカから日本までの 30 か国で事業を展開しています。エネルギートレーディングプラットフォームを中核に据え、それを基にエネルギーソリューションを構築することで、過去数年間において調整力最適化の分野で深い専門性を築いてきました。さらに、Second Foundation 社は EU と日本の両地域で独自の統合型 BESS プロジェクトを開発しています。詳細は同社ウェブサイトをご参照ください。

<https://www.second-foundation.eu/>

大和証券グループは、経営ビジョン「2030Vision」のもと、引き続きステークホルダーの皆様と共に、金融・資本市場を通じた豊かな未来の創造および企業価値の向上に努めてまいります。

以上

大和エネルギー・インフラ株式会社

<https://daiwa-ei.jp/>

（ご参考）大和証券グループのサステナビリティに関する取組み：

https://www.daiwa-grp.jp/sustainability/?cid=ad_eir_sdgspress